

署名証明書及びCA証明書更新による対応について

日レセで使用するCA証明書を器材更新の関係で再発行となり、また、署名付きダウンロードファイルで使用する署名用証明書の期限が令和2年9月上旬ということから、それぞれ更新を行います。これによる日レセの対応について説明します。

(1) 各証明書の内容

CA証明書

	現行	更新
ファイル名	orca-project-ca-2.crt	orca-project-ca-3.crt
開始日	2014/02/27	2020/01/08
終了日	2034/02/27	2037/12/31
内容	現行証明書	現行証明書+新証明書

署名用証明書

有効期限 2022年1月7日

(2) 署名付きダウンロードファイル

署名付きダウンロードファイルの種類は以下の5つがあります。

- ・インストール時のデータベースセットアップ処理で使用するファイル
- ・プログラム更新ファイル
- ・マスタ更新ファイル
- ・お薬情報（薬剤情報提供書）の雛形データファイル
- ・点数マスタチェックツールの検証データファイル

(3) 署名付きダウンロードファイルの置き換え

新CA証明書に対する署名用証明書により署名されたダウンロードファイルは、

令和2年9月8日（火）より順次置き換えを行います。

置き換え後、ユーザ側で新CA証明書の更新対応が行われていない場合は、ダウンロードができなくなりますのでプログラム更新処理、マスタ更新処理などでエラーとなります。

(4) 日レセの対応

日レセ証明書パッケージ（orca-ca-cert）をアップデートすることを推奨します。

```
$ sudo apt update
$ sudo apt install orca-ca-cert
```

バージョンは1.2となれば問題ありません。

また、パッケージアップデートができない場合は、以下のプログラム更新にて対応を行います。

(5) 新CA証明書の設置とプログラム対応方法

令和2年8月26日提供のパッチプログラムを適用することにより、新CA証明書の設置及びプログラム対応が可能です。

ただし、令和2年9月7日（月）までにプログラム更新処理により適用を行う必要があります。

プログラム更新により、新CA証明書の設置場所は以下となります。

```
/usr/lib/jma-receipt/patch-lib/data/orca-project-ca-3.crt
```

プログラム更新により、CA証明書を使用するスクリプトは、スクリプトの先頭で環境変数CACERTFILEを/usr/lib/jma-receipt/patch-lib/data/orca-project-ca-3.crtに設定しています。

```
※ CACERTFILE={PATCHDATADIR}/orca-project-ca-3.crt
```

(6) その他でCA証明書を参照する処理

ORCAサーベイランスでの報告データ送信処理でCA証明書を参照しています。

これも同様に、令和2年8月26日提供のパッチプログラムを適用することにより対応を行います。

(7) パッケージのインストール

CA証明書の参照はありませんのでCA証明書有効期限を過ぎても、パッケージのインストールはできません。

(8) データベースセットアップ（jma-setup）

データベースセットアップ処理の手続きについては、パッチプログラムでの対応は行いません。

(4) 日レセの対応で説明した日レセ証明書パッケージをアップデートしてください。

(9) 点数マスタチェックツール（tensu-check）

ツールのバージョンは1.0（tensu-check-1.0.tgz）で対応を行います。

なお、令和2年8月26日提供のパッチプログラムを適用済みである必要があります。